



提供：八坂神社

京都の文化が息づく3側面, “みんなごと”で取り組む レジリエンスモデル ～SDGsのその先へ～



京都市
CITY OF KYOTO



京都市の都市特性



千年を超えて、都市の機能・文化が遮断されずに継承・発展
レジリエンスを目指し、SDGsを体現してきたまち



IPCC第49回総会

多様性

奥深さ



京都学生祭典



自治体SDGsモデル事業の概要(三側面の課題と対象事業)



➤ 暮らし, 支え合い, はぐくみ, 伝統と革新, 精神性など,
京都に息づき人々の行動様式の基となる「文化」の力が3側面の取組を支えている。

経済

【伝統文化・伝統産業】

⇒ ものづくり文化・先端産業

課題: 地域経済の活性化

新産業の創出

- ・スタートアップ・エコシステムの構築
- ・ソーシャル・イノベーションの推進
- ・農地・山林の多面的な機能の発揮



社会

【歴史文化・支え合い文化
・はぐくみ文化】

⇒ 地域力・福祉力

課題: 市民力の育成

- ・持続可能な社会の担い手育成
- ・文化の振興
- ・地域コミュニティの活性化



「超SDGs ×
レジリエンス
テラス事業」

【くらしの文化】

⇒ 環境と調和した持続可能な社会

環境

課題: 環境負荷の低減

自然環境の保全

- ・温室効果ガス排出量の削減
- ・食品ロス, プラスチックごみの削減
- ・資源循環の推進
- ・生物多様の保全



文化

- SDGsの達成には,
必要不可欠なもの
- 文化を基軸とした
あらゆる政策の推進によるSDGsへの
貢献を基本とする



「超SDGs × レジリエンス テラス事業」

- 2050年までにCO₂排出量正味ゼロの実現
 - 2040年までにレジリエント・シティの実現
(「京都市レジリエンス戦略」)
- を旨とし、2030年までのSDGsの達成に取り組んでいく。

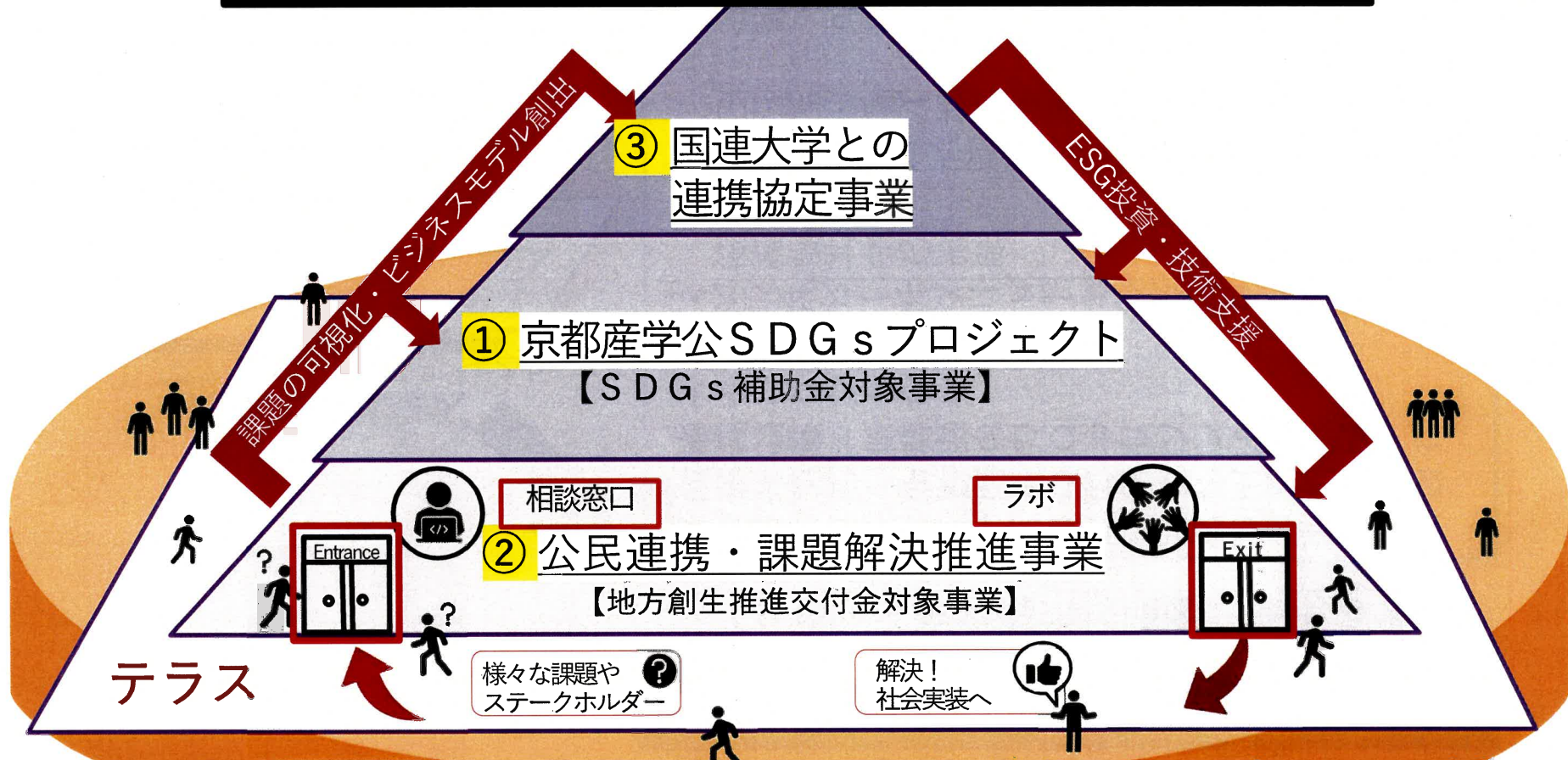
- 社会課題を見える化し、多様な主体が協働して課題解決に取り組み好循環を生み出す場『テラス』
- 「取組主体、行政の関与、事例の展開先（国内外）」が異なる3つのプラットフォームを形成
- 課題解決に必要な技術提供や投資などが実施できる仕組みを構築し、自律的好循環を実現

⇒ 社会実験を通じてSDGsの社会実装へ

統合的取組の全体像



「超SDGs × レジリエンス テラス事業」



- 新たに設ける「一括相談窓口(コーディネート機能)」により課題の見える化を行い、3つのプラットフォーム事業において多様な主体が協働して社会課題解決に取り組む。
- 課題解決に必要な技術支援やESG投資など、あらゆるセクター・3つのプラットフォームが持てる力を出し合える場(テラス)を構築し、強みを活かして協働することにより補い合い、自律的な好循環を生み出していく。

超SDGs × レジリエンス テラス事業の取組①



京都産学公SDGsプロジェクト

【SDGs未来都市補助金 活用事業】



ステークホルダー
(京都超SDGsコンソーシアム)

京都大学, リコー, 安田産業, JT,
ecomit, ソフトバンク,
セブン&アイ・ホールディングス,
三洋化成工業, 日本マクドナルド,
エフピコ, 国中環境開発, 京都市 計12団体

京都市をフィールドにSDGsの社会実装を目指すため、令和元年6月に立ち上げた産学公連携組織「京都超SDGsコンソーシアム」によるプロジェクト。

- ・ 2050年カーボンニュートラルにつながる循環型社会の実現
- ・ 2025年の関西万博をターゲットに 中山間地域における地方創生の取組を推進

取組例：SDGs登録・認証等制度
持続可能な農林業
新たな働き方・暮らし方の提供
SDGs教育を通じた人材育成
脱プラ, 2R, 食品ロス削減, 創エネ
オンラインイベント・情報発信等

超SDGs × レジリエンス テラス事業の取組①



京都産学公SDGsプロジェクト

京都超SDGsコンソーシアム
との周辺ネットワーク

<京都大学>

○連携組織: エコ〜るど京大・
研究ライトユニット ほか



<京北地域>

○連携組織: 京北地域の
約30の企業・団体

【学】

京都大学

【公・市民】

京都市

『京都超SDGsコンソーシアム』

リコー, 安田産業, JT, ecommit, ソフトバンク,
セブン&アイ・ホールディングス, 三洋化成工業,
日本マクドナルド, エフピコ, 国中環境開発

【産】

<SDGs研究会>

○参加組織:
約20の企業・団体



<地域実装>
2025大阪・関西
万博に向けて

○連携組織:
JST, 万博協会,
先進地域・団体

<SDGs関連>

○連携組織: 各分野の企業・団体



⇒ SDGsの社会実装と情報発信力を活かした全国展開へ!

超SDGs × レジリエンス テラス事業の取組②



公民連携・課題解決推進事業

【地方創生推進交付金 活用事業】



市が、民間企業等のシーズ（技術やノウハウ）を活用し、社会課題・行政課題の解決や、行政の施策・事業の実施手段として活かしていく取組。

- ・ 公民連携を担う「一括相談窓口機能」の創設
民間企業等のシーズや社会・行政課題の把握
- ・ 「公民連携支援ラボの設立・運営」
プロジェクト化に向けた社会実験

ステークホルダー

- ・ 地域金融機関
- ・ 京都をつなげる30人
- ・ 京都市ソーシャルイノベーション研究所
- ・ 京都信用金庫 QUESTION
- ・ 京都市地域力未来力会議
- ・ 京都知恵産業創造の森 など

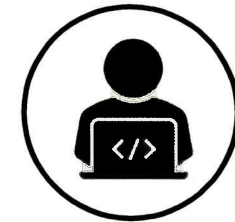
取組例：SDGs ツーリズム
DX（AIチャットボット、
自動動画作成ツールの活用など）
クラウドファンディングを活用した
障害者アートの普及
エシカル消費の効果的な普及啓発 など

超SDGs × レジリエンス テラス事業の取組②

公民連携・課題解決推進事業

(1) 一括相談窓口

庁内外から社会課題・行政課題を集め、見える化



(2) コーディネート

民間人材 × 行政職員で、課題・提案の事前整理、分析や民間企業等とのマッチングを実施



(3) 公民連携支援ラボ

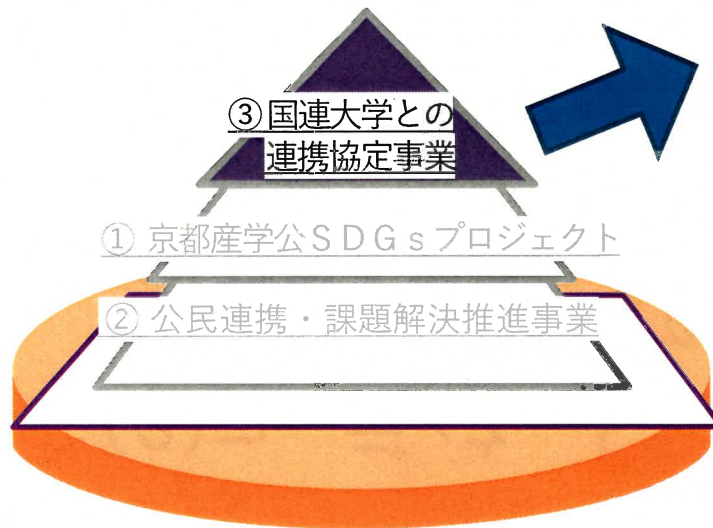
プロジェクトチーム(ラボ)を立ち上げ、実践を通じて施策・事業へ反映



⇒成功事例を重ねることにより、民間のSDGs参画の裾野を広げ、行政・企業の人材育成や、新たなビジネスの創出に繋げていく。

超SDGs × レジリエンス テラス事業の取組③

国連大学との連携協定事業



ステークホルダー

(国連大学, SDG企業戦略フォーラム
参加企業 14社)

- ・イオン株式会社
- ・日本たばこ産業株式会社
- ・UCCホールディングス株式会社
- ・トヨタ自動車株式会社 など

京都をフィールドに社会実験を行い、社会課題解決とともに企業のビジネスモデルを構築して、国内外へ展開を目指す枠組み。

- ・ 京都市が「場」と「社会課題」を提供
- ・ SDG企業戦略フォーラムの参加企業と連携
(国連大学と連携する国内大手企業)
- ・ 国連大学が学術的視点で研究・協力

今後、ウィズコロナ・ポストコロナ社会における社会課題を取り上げ、取組を進めていく。

取組例：環境, 観光, モビリティ など

超SDGs × レジリエンス テラス事業の取組③



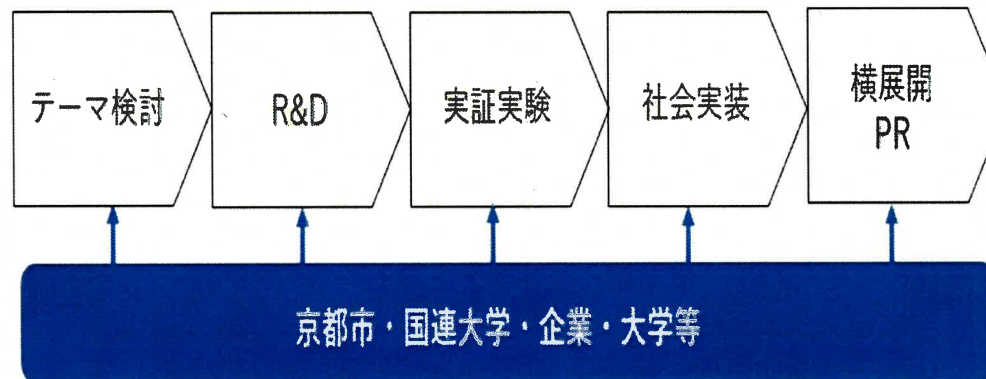
国連大学との連携協定事業



- 高いポテンシャルを有する京都市と、国内唯一の本部のある国連機関である国連大学との協働
- 目的は「SDGsの社会実装（ビジネス）化」、京都市は課題と実証実験の場を提供
- 都市の先進的課題にいち早く取組み、その活動の横展開及びPRを企図

京都市のポテンシャル

- 1 歴史・文化都市
年間5200万人超の観光客
文化庁の全面的移転
- 2 環境都市
京都議定書採択の地
2050年CO2 排出量実質ゼロ宣言
- 3 研究・学術都市
38の大学・短大

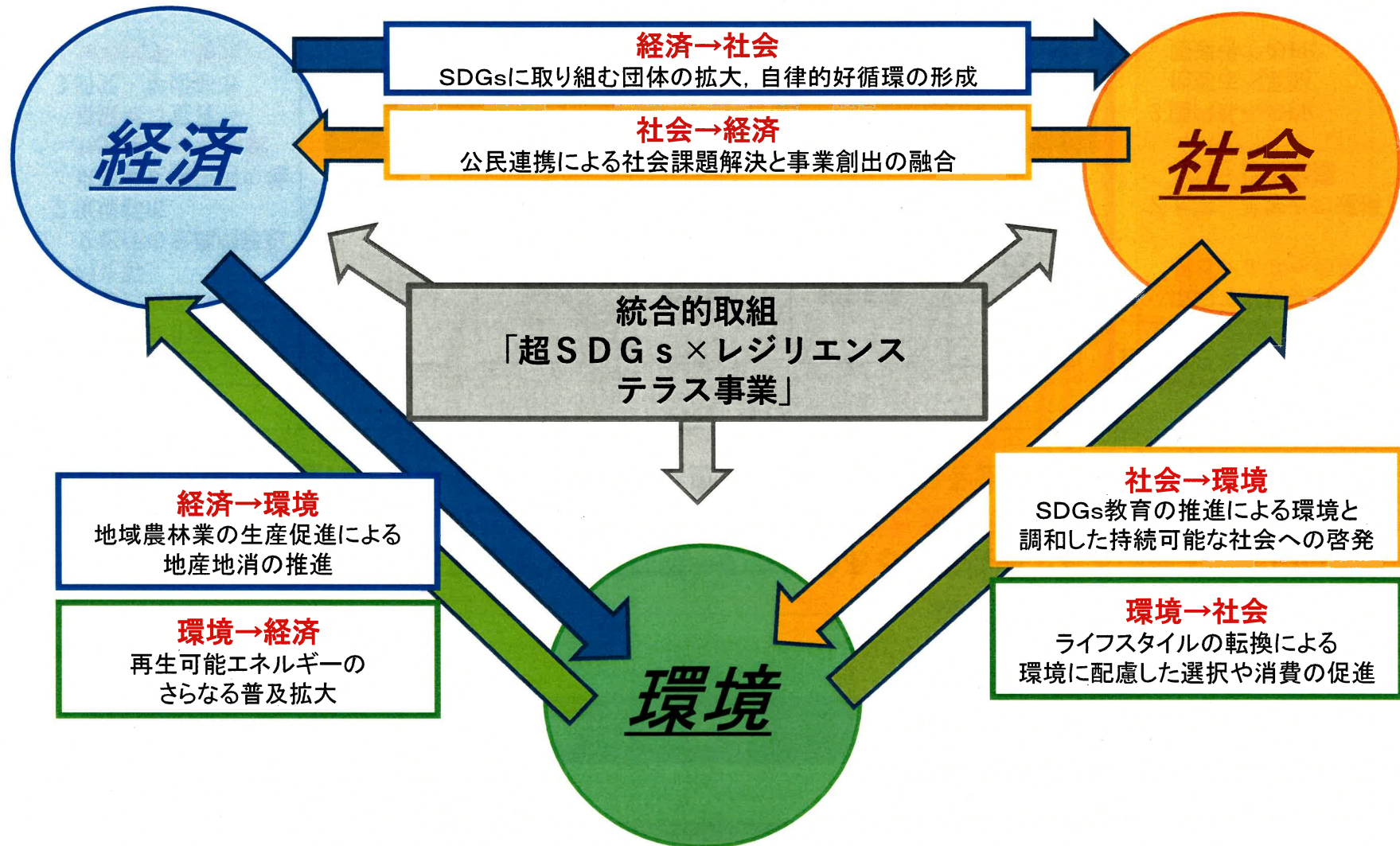


期待できる効果

- 1 SDGs社会実装の実現
市内で実証実験可能
新ビジネスへの期待
- 2 大学、地域との連携
人材・技術発掘
- 3 国内外へのPR
他都市へ展開
国連等でのPR

⇒京都をフィールドに社会実験を行い、社会課題解決とともに参加企業のビジネスモデルを構築して、国内外へ展開を目指す

経済，社会，環境の各側面の相乗効果

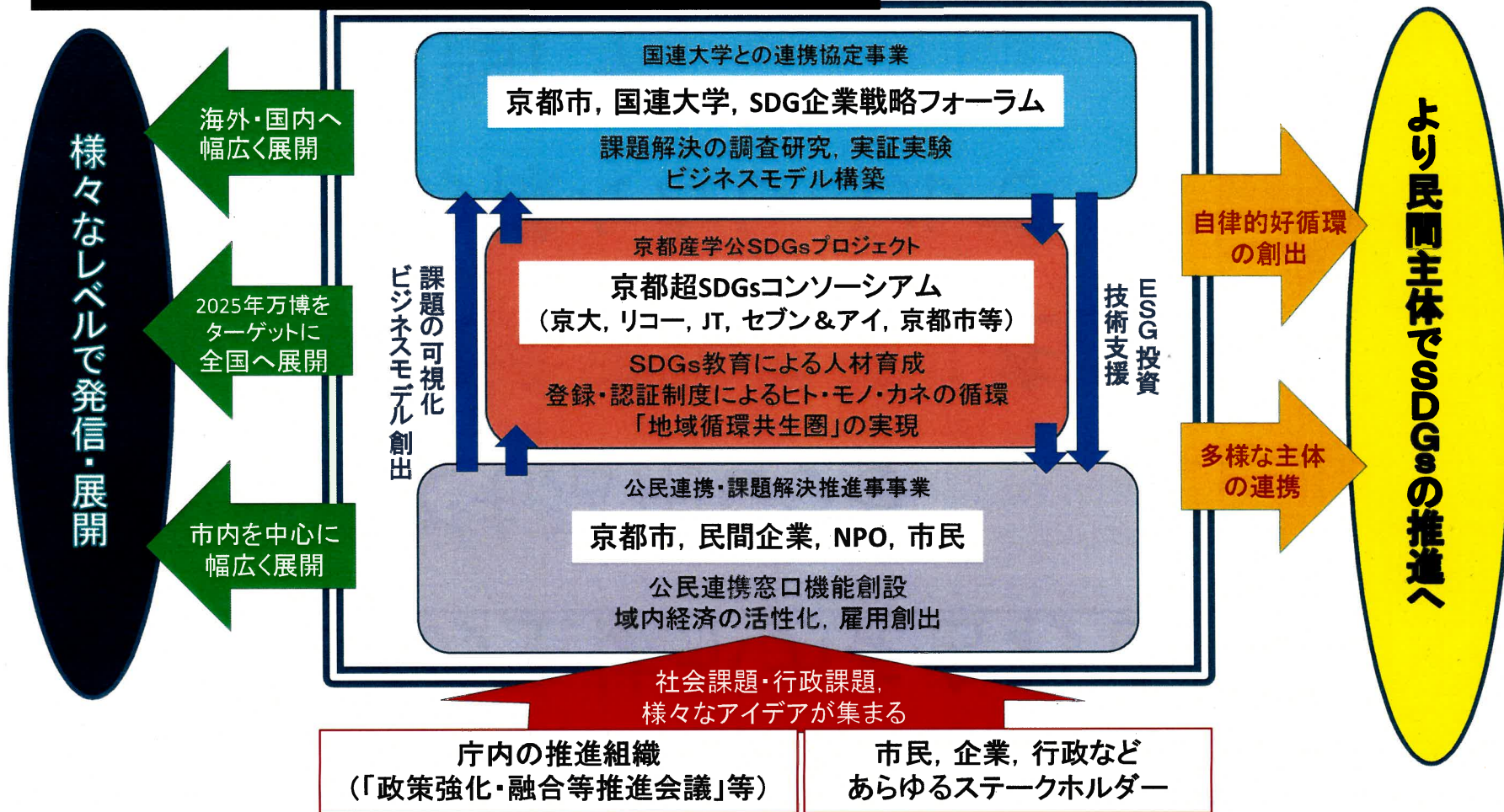


⇒ 「地域力」「市民力」を活かし、多様な主体が協働して取り組むことで、3側面の様々な社会課題を解決し、持続可能な都市(レジリエント・シティ)を実現！

自律的好循環の具体化に向けた事業の実施

『超SDGs×レジリエンス テラス事業』

【共通の目的:SDGsの社会実装化】



- 3つのプラットフォームの連携で、多様なセクターが課題を共有
- 技術支援や投資でヒト・モノ・カネの好循環を生み出し、事業の自走化を促す！

京都市では...



京都市
CITY OF KYOTO



より多くの主体が力を合わせ、

他都市でも活用しうる

SDGsの**社会実装モデル**をつくり、

国内外の様々なレベルで

発信・展開して、

SDGs**推進に貢献**してまいります！